



# これまで捨てられていた里芋の親芋から コロツケを開発。狭山の新名物として 地域おこし・地産地消に役立てたい

狭山市は、特産のお茶だけでなく、都市近郊型農業の盛んな地域で、里芋やほうれん草、にんじん、えだまめ、ぶどうなど、味の良さから市場では高い評価を得ています。中でも、

里芋は味の良さに加え、「ねっとり感」や「色の白さ」から都内の高級料亭でも重宝されている食材です。

スチーム技術(1000未満の蒸気で食材を調理加工する技術)を持つ会社、親芋の栄養を失わずに軟らかくすることに成功し、コロツケを作りました。「里芋コロツケ」

は低カロリーで、胃の粘膜保護、肝機能強化の効果があり、また、食物繊維が豊富に含まれているなど、ヘルシーさもアピールポイントです。

「コロツケができて販売が決まったときは、ただうれしいというのが素直な気持ちでした。里芋というとけんちん汁や煮つころがしといった定番の食べ方が中心でしたが、多くの人に支えられ、こまごまでこられたことに感謝しています。これから新しい食べ方をみんなで考えて提案し、名物として需要が増え、地域おこしにつながればという夢を持っていきます(奥富さん)」

「地産地消が言われていますが、これまではなかなか具体的に目に見えるものはありませんでした。狭山特産の里芋からコロツケができたので、学校給食など、身近なところで行政と連携していければ、里芋のPRにもなるし、他の農作物にも波及していけばいいと思います(高橋さん)」。里芋コロツケは、2月末でスーパードの販売を終えましたが、3月25日の狭山市駅西口地区まち開きの会場での販売をはじめ、今後とも、各種イベントなどで、PRに努めていく予定です。

市でも、これらの活動に積極的に協力していきますので、多くの皆さんに、狭山野菜の良さを知っていただければと思います。



J A いるま野狭山野菜部会さといも部会長  
高橋憲治さん(右:中新田在住)  
さやま里芋増産倶楽部代表  
奥富康雄さん(左:加佐志在住)



調整前と調整後の親芋



出荷用にカットした親芋



市販されていた「里芋コロツケ」  
クリームコロツケのような食感

「以前から、親芋を何とかできないかという話があり、いろいろ試作を重ねてきました。が、商業ベースに乗せるまでには至りませんでした」とお二人は振り返ります。

そのような試行錯誤の中で、狭山市農業青年会議所で検討を始め、加工しやすいようにカットして売ることを見案。これを埼玉県川越農林振興センターが複数の食品加工会社に働きかけたところ、ソフト

# オピニオン

写真クイズの回答の際に、広報さやまについて寄せられたご意見やご要望にお答えします

笹井在住 50代 女性

Q...毎月、狭山の元気発見「躍」のコーナーの心温まる話を夫婦で楽しみに読んでいます。これからも私たちの身近な人たちの活躍を聞かせてください。

A...今後も幅広く、元気な市民の活躍ぶりを取り上げていきたいと思っていますので、皆さんからの情報をお待ちしています。

南入曾在住 70代 男性

Q...広報紙には、お役所言葉が少なく、私たちの普段の言葉に近く感じますが、漢字とひらがな、送り仮名や句読点などの使い方に何か基準があるのですか。

A...硬い表現を避け、中学生以下の方でも分かりやすく読めように心がけています。また、国語表記に関する辞典をもとに、ひらがな、漢字の使い分けなどを行っています。表題、項目、注釈などに句点がなかったり、場所によって送り仮名の入れ方が違うのも、広報さやまとしての表記ルールに基づくものです。

富士見在住 40代 男性

Q...毎月、広報さやまを見るのを楽しみにしていますが、届くのが遅い時があります。

A...広報紙は、各自治会のご協力により配布されていますが、それぞれ自治会で事情が異なるため、全世帯に同じタイミングで配布できないのが実情です。調査の結果、全体の約8割の世帯には一週間以内に配布されていますが、今後とも、早期配布の協力をお願いしていきます。

貴重なご意見をありがとうございました。寄せられましたご意見やご要望を参考に、より充実した広報さやまを作成していきたいと思えます。

皆さんの「声」をお待ちしています。お寄せいただく際は、住所、氏名、電話番号をご記入ください。☎2954 6262(代) ✉koho@city.sayama.saitama.jp

私たちのサークルは、平成18年に狭山台公民館のフラダンスの入門コースとして始まったもので、毎週火曜日に同公民館で活動しています。ハワイアンフラは、ハワイの伝統的な民族舞踊で、フラとはハワイ語で「踊り」という意味です。フラはゆるやかな有酸素運動で、誰でも楽しむことができます。40歳代から70歳代まで幅広い年齢層の会員がいます。毎年春に開催される市のハワイアンフェスティバルや、秋の市民文化祭で踊りを披露することが私たちの目標で、みんな明るく楽しく、熱心に日ごろの練習に励んでいます。また、会員同士はとて仲が良く、親睦会やクリスマスパーティーをはじめ、ウクレレなど、他のグループとの交流も行っています。フラは古代ハワイ人の伝達手段で、それぞれの踊りに意味があります。私たちはもつと上手になって、市内の福祉施設などを回り、フラをとおしたコミュニケーションも紹介したいと考えています。問合せ石川真紀子さんへ

2957 6882

私の宝物 ...

## 木の温もりで安らぎのひとときを

手作り仕上げたウッドデッキが、私の宝物です。家族との時間や、親しい友人たちを招いてバーベキューなどを楽しみたいと思って、2年半前に作



岡田信孝さん (水野在住)

りました。仕事で海外に行くことが多く、そこで目にしたウッドデッキの質感やぬくもりに感動し、挑戦しようと思いました。丸太組みで作り上げることや、材料となる檜の間伐材の仕入れなど苦勞も多かったですが、時間をかけ、なんとかイメージどおりに仕上げることができました。



最初はミニチュアを作ってイメージしました

今では、孫と過ごす時間や友人との語らいのひとときを提供してくれる、そんな安らぎの場所となっています。

# Hello ハロー仲間たち

Vol.343



フラを通じた仲間たちの交流がもう一つの楽しみです

## ハワイアンフラマリエ

私たちのサークルは、平成18年に狭山台公民館のフラダンスの入門コースとして始まったもので、毎週火曜日に同公民館で活動しています。

ハワイアンフラは、ハワイの伝統的な民族舞踊で、フラとはハワイ語で「踊り」という意味です。フラはゆるやかな有酸素運動で、誰でも楽しむことができます。40歳代から70歳代まで幅広い年齢層の会員がいます。毎年春に開催される市のハワイアンフェスティバルや、秋の市民文化祭で踊りを披露することが私たちの目標で、みんな明るく楽しく、熱心に日ごろの練習に励んでいます。また、会員同士はとて仲が良く、親睦会やクリスマスパーティーをはじめ、ウクレレなど、他のグループとの交流も行っています。フラは古代ハワイ人の伝達手段で、それぞれの踊りに意味があります。私たちはもつと上手になって、市内の福祉施設などを回り、フラをとおしたコミュニケーションも紹介したいと考えています。問合せ石川真紀子さんへ